



児童会役員選挙

12月9日(火)に、立会演説会・投開票が行われました。本校では、おかげさまでインフルエンザの流行もすっかり落ち着きましたので、立会演説会を対面で行うことができました。場の雰囲気を感じること、演説者の思いを心で受けとめることなど、対面で行う教育的効果を感じることができました。



(1) 候補者・責任者の演説

聞く人の心に響く素晴らしい内容でした。選挙の演説は、「来年度の竜王西小をこのようにしたい」「〇〇さんはこういう人物です。」といった内容です。聞く側にしてみれば、どの演説も似た内容だと思ってしまいがちですが、配付された広報も読みながら吟味して聞くと、演説者一人一人が話すそれぞれの思いは違っています。子供たちの純粋な思いにあふれた演説は、心に響いてきます。(これまで原稿を書くためにたくさん悩み、そして、伝えるための練習を一生懸命やってきたのだろうな)と、その子のドラマを思い浮かべると感動してきます。また、立派に演説を終えた一人一人の表情も魅力的です。演説を無事やり遂げて安堵しながらも、この後の投開票を前に引き締まった表情はとても美しく、(また一つ成長したね)と、教師をやっていてよかったと感じられる一場面でした。

(2) 演説を聴く人たちの態度

立会演説会には、3年生以上が参加します。前列には3年生が並び、後ろに上級生が並んで座っています。話を聴く態度は、西小の子どもたちはとてもよいと思っていますが、当然のことながら上級生になるほど立派です。

- ①体が動かずに集中して聴いている。
- ②話す人の顔を見て聴いている。
- ③演説のあいさつに声を出して応えている。

この①～③が上の学年ほどよくできていて、6年生はさすがだと感じずにはいられません。こういう一つ一つが、伝統として受け継がれていくのでしょう。

(3) 選挙管理委員会の尽力

およそ1ヶ月間の準備と運営があります。今年度はインフルエンザ流行の影響で、もっと長く取り組むことになりました。期間中は、中休みや昼休みを使っでの準備や話し合い、練習があります。同時に、さまざまな選挙事務もあります。

- ・選挙の形式に沿った事務の運営
- ・ポスターに表現してよい内容の説明、掲示場所の確保
- ・候補者が使用するたすきについて
- ・選挙運動の仕方の説明、訪問場所や日時の割り振り
- ・立会演説会の運営
- ・投開票運営
- ・選挙だより、公報の作成 etc..



当日に向けての練習の様子

選挙管理委員会の働きがあってこそ、選挙が無事に実施できたということがわかると思います。立候補者の活躍の陰に隠れてしまいがちですが、選挙管理委員の尽力にも注目すべきです。

選挙管理委員のみなさんのおかげで、来年度の児童会役員を決めることができました。練習に裏打ちされた本番での立派な態度と運営がすばらしかったです。長期間お疲れ様でした。



責任ある使い方のために

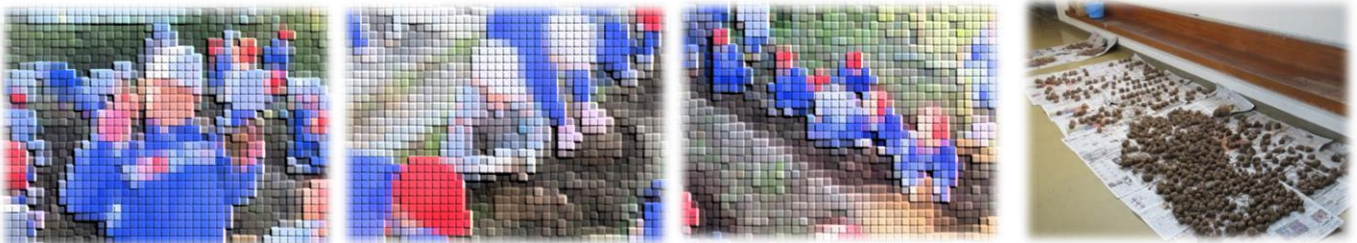
ラインやインスタグラム、T i k T o k, Y o u T u b e, オンラインゲーム等における、モラルやルールを守れない使い方によるトラブルについて、小学校でも「こんなことがあった」という話をよく聞くようになりました。

- ・個人情報の掲載 ・言葉遣いの悪さ ・知らない人とのつながり ・常識はずれの送信数 ・夜中や早朝の使用
- ・メンバーの許可なくグループに知り合いを勝手に招待 ・友だちのアカウントを勝手に他人に教える
- ・約束した使用時間を守らない ・自部屋では使わないことになっていたのに持ち込んでの使用が常態化

もう一度、使用上のモラルやルールを確認し、購入時の約束を徹底してみてはいかがでしょうか。我が家の「まあいいか」が、他の家庭の「非常識」であることは意外に多く、ご自分のお子さんに許してしまっていることが、つながっている相手や家庭を苦しめていることがあります。

スマホ等の端末は高額で購入された保護者の所有物であり、お子さんには与えたのではなく貸しているのだと再認識し、端末の画面や記録を定期的に確認されることをおすすめします。

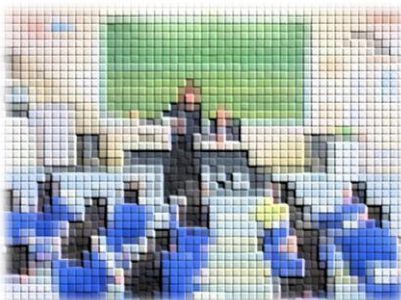
3 年生 八幡いもの収穫



11月21日(金)、3年生は、さまざまな農産物をつくられている浅川友一さんにご指導いただいて、4月に植えた八幡いものを収穫することができました。浅川さんをご自分の畑で作られている「やはたいも」は、今年は、水温が高かったことが影響してかあまり収穫できなかったとのことです。気温の上昇が、やはたいもにも影響しているようです。本校では、なによりも浅川さんが定期的に管理してくださったこと、畑が比較的日陰にもなること、水温が安定した水道水を使用することから無事収穫できました。今年度も、丁寧なご支援・ご指導をありがとうございました。

3年生は、ゆでた八幡いものを給食の時間においしくいただきました。また、給食の食材(みそ汁の具)としても使用して、全校でおいしくいただきました。

4 年生 福祉講話



11月25日(火)に白濱顕子さん・公博さんと盲導犬のダスティーをお招きして、視覚障害を持つ方の生活の様子を紹介していただいたり、視覚情報ありきでなく伝えたいことを伝えるための会話方法を教えていただいたりしました。

白濱さんのバイタリティあふれるお話や動きには、視覚障害を感じさせないはつらつさがあり、視覚障害に対する漠然としたイメージを改めなくてはならないと考える時間になりました。

盲導犬は信号の色を区別できないこと、信号での横断では、盲導犬が人をリードしているのではなく、実際は、人が聴覚等の情報から判断して盲導犬をリードしていることを知りました。

また、最近は音声で教えてくれる家電製品があるけれど、音声で教えてくれる内容が、視覚障害者にとって本当に必要な情報になっていないこともわかりました。

視覚障害を持つ方々は、感じ取る情報の不足により命がけの判断で生活していることもあって周囲の支援を求めているので、私たちの積極的な声かけが必要なことを改めて学びました。



